

# 沙漠を緑に

どんぐりモンゴリの挑戦

## 教育支援

黄砂の発生源になって  
いる中国・内蒙東部の  
科尔沁砂漠にある烏雲森  
林農場は、植林事業を進  
めるNPO法人「どんぐ  
りモンゴリ」(愛知県長  
久町)の活動拠点。訪  
ねたとき、現地の中高生  
たち十人ほどが、苗木畑  
の手入れに励んでいた。

西日よけにする作業だ。  
人の営みによって植物  
が減った「沙漠」を、人  
の力で元に戻していく。

鳥雲高娃さん(右)は「そ  
うかうない」とさげすま  
れた。九月から高校に進む

鳥雲高娃さんも、上海日立建機董事長。中  
國東北部生まれで、元

「貧困の問題を解決しな  
ければ、『沙漠化』は解  
かない」という思いがあ  
る。

鳥雲高娃さん宅を訪  
ると、父親の格日勒圖さ  
ん(四〇)が笑顔で迎えてく  
れた。原因不明のおなか  
の病気で寝込んでいた

が、最近動けるようにな  
ったといふ。家業は牧農。ヤギ  
も飼つていており、一  
日本でのカシミヤ人  
気を背景にヤギの毛が  
高値になつており、一  
百元(約四千五百円)  
と、羊毛の八十倍近い  
値段。このためヤギを

ゴル語が主流だ。どんぐ  
りモンゴリの現地女性ス  
タッフ、柳叶さん(二二)  
「苗木づくりをしつかり  
ながら、子どもたちに  
剪定枝を苗木の周りに差

した。西日よけにする作  
業だ。そのために、現地の人  
鳥雲高娃さん(左)は「そ  
うかうない」とさげすま  
れた。九月から高校に進む

鳥雲高娃さんも、上海日立建機董事長。中  
國東北部生まれで、元

「貧困の問題を解決しな  
ければ、『沙漠化』は解  
かない」という思いがあ  
る。

鳥雲高娃さん宅を訪  
ると、父親の格日勒圖さ  
ん(四〇)が笑顔で迎えてく  
れた。原因不明のおなか  
の病気で寝込んでいた

が、最近動けるようにな  
ったといふ。家業は牧農。ヤギ  
も飼つていており、一  
日本でのカシミヤ人  
気を背景にヤギの毛が  
高値になつており、一  
百元(約四千五百円)  
と、羊毛の八十倍近い  
値段。このためヤギを

は、もちろんです」と  
安定が大切だ。だから、流ちうな日本語で答えた。高校生は日本語も勉強することが支援の条件になっている。

同会理事長の角和保明

さんは、「蒙古東部では、モン

族より上を行け」と子ど

もたちを激励する。

角和さんは満州(現中

国東北部)生まれで、元

上海日立建機董事長。中

國東北部)生まれで、元

上海日立建機董事長。中

國東北部)生まれで、元